

日時：2010年4月24日（土）16:00-18:00

場所：イエズス会管区長館（岐部ホール）310号室

はじめの祈り

審議事項

A. ホームページに関して

1. 立ち上げ画面（レイアウト）等について（大木氏より）

- ・トップページの種々の表現を、できるだけ簡潔明瞭にする。
- ・青年たちにアクセスしてもらい意見をもらう。
- ・大木氏が、寄せられた種々の記事を入れながら、手を加えて整える。

2. 諸記事についての検討

*司教様のあいさつ（池長大司教）

- ・「召命チーム」という言葉の前に「カトリック」を付加し、正式名称にする。
- ・池長大司教様の挨拶の原稿をキエサ師が、順序をいれかえ、若干の訂正を加えている。
- ・キエサしによる訂正原稿には、池長大司教様の意向と若干合わない部分があるのではないか。
 - ・たとえば「このチームの目的はまず第一に司祭、修道者への召命に気づき、その道に入る若者に、神に呼ばれていることを知るきっかけを与えるためです。」という部分がキエサ師による訂正の部分では諸略されている。
 - ・池長大司教様の文だと他の召命グループの活動競合するイメージを与える。
 - ・このチームの目的が各地域や修道会の召命活動と競合してはならない。

・大山が以下のような文に変えて見ましたが如何でしょうか。（会議では話されなかったこと）

「このチームの目的は、まず各地域や修道会で行われる召命活動を繋げることを通して支援することです。そしてそのことを通して、日本の教会の若者が神に呼ばれていることに気づき、司祭や修道者への召命の道に入るのを側面から支援することです。

また召命というのは、司祭や修道者に呼ばれることだけを意味するものではありません。」

*召命チームとは（大山記事）

- ・教会の後ろ盾、支援があることを明記した方がよい。したがって、「有志による任意の・・・」を削除し以下のようにとする。

「カトリック召命チームは、池長潤大司教様および野村純一司教様のご指導のもと、日本における召命、司祭、信徒の召命の活性化を目指すグループです」

- ・最後にどのような人がメンバーとしているかを明記する。たとえば、以下の文を入れる。

「……と考えています。

なお、メンバーとしては現在、司教2人、また東京近郊に住んでいる司祭5名、助祭1名、シスター4名、青年男子3名の15名で運営しています。

*召命とは：キエサ師、S r. 前田の案

・どちらもすばらしい内容だからそのまま残す。曲をつけるなど若干の編集を行う。:(S r. 池田担当)

*召命の識別（古里師）

・もう一度、文字や表現などを留意しながら内容は掲載する。

*男子修道会・・このままでよい。

・ミッション会についての説明を加える。

*女子修道会・・

・古里師が簡単に女子修道会の全体像を説明する。またS r. 池田の原稿には若干の加筆、削除を行いながら、日本に於ける修道会の歴史などを一つの資料として、おいおいHPに掲載する。

3. その他

- ・リンクを付ける。
- ・修道会の紹介は各修道会に打診する。
- ・各修道会、教区の司祭・修道者に関する召命に関する行事を付加する。
- ・信徒の召命を加える。

*HPを公開する前に、日本の司教団と各教区、修道会の召命委員になどに知らせておく。

B. 5月29日(土)のイベントに関して、その進捗状況

*池長大司教様：29日に参加。野村司教様は返事待ち。

*伊東氏がイベントの目的、参加人数、参加費用などを簡単な説明を行った。

*セッションは3つよりなる。

- ・第一：教会の現状を知らせる。
- ・第二：教会、福音の力を感じ取らせ、それらが自分たちの中にすでに在ることを気づかせる。
- ・第三：自分たちの使命を描きださせる。

*セッションの目的は

- ・上から教えるのではなく、若者たち自身が教会の現状を知り、現実に気づくようにする。
- ・集まった若者たちが教会について何を思い、感じているかを聴くことにある。そしてそれがカトリック召命チームの今後の展開につながるようにする。

*セッションの方法などは古里師と伊藤氏、川原氏の3氏で練り、メールで流し検討する。

- ・講演やパネルディスカッション、グループでの分かち合い、その他の方法があり得る。
- ・写真、記録、アンケート内容についても検討する。